

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和3年4月 5日

事業名:放課後等デイサービスたんぽぽ

保護者等数(児童数) 28 回収数 20 割合71.4%

			はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見等を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	5	1		活動内容によってわかりやすく構造化するなど、部屋の使い方を工夫していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	5	0	無回答1	研修等により支援の向上に努めるとともにリハビリ専門職の配置を行います。
	③	事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	9	2		車いす用のトイレがあるのみでバリアフリー化ではない。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか。	18	2	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	19	1	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	12	4	無回答1	2年度は新型コロナウイルスの影響で機会を持つことができなかった。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	3	0		
	⑨	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	19	1	0		
	⑩	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	11	4	5		研修会後の交流会や情報交換会が企画されていましたがコロナの影響で十分に実施できませんでした。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	4	0	無回答1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	無回答1	
	⑬	定期的に会報やホームページ等活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	4	0		月1回のお便りとホームページで活動の様子をご紹介します。

	⑭	個人情報に十分に注意しているか	18	2	0		
非常時の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	3	0	無回答1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	13	7	0		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16	4	0		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	4	0		

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年4月 5日

事業名 放課後等デイサービスたんぼぼ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	その日のプログラムによって限られたスペースを有効に活用できるように工夫している。	伸び伸びと活動できる場や、落ち着ける場所を提供できるよう法人レベルで検討する。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			専門職を始め、職員の入・退職を保護者に通知する。
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物のハード面で改善の必要あり。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員参画しているか。	○		日々振り返りを行っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			
	⑥ この評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		ホームページやお便り、保護者懇談会で周知している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に努めているか。		○	今年度は実習・ボランティアの受け入れを中止した。	
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		随時事例検討等を行っている。		
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者や相談支援、関係機関と連携し適切なアセスメントができるよう努力している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		必要性をはかりながら、意識的に使用していく。上半期中に実施の予定。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		曜日や週で担当を決め、週1回の支援会議と業務終了後に検討している。	月曜日が製作活動に偏りがちなため立案曜日を変更する。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		いろいろなことが経験できるように配慮している。ただし何度も繰り返す事で身につけられる活動も行っている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○		季節の行事を取り入れたり、動と静のバランスをとったり、楽しく参加できるよう工夫している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者の希望により月に1回、作業療法の個別活動を行っている。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		開始前に全員、もしくは各クラス毎に揃い打ち合わせを行っている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		会議や月曜日案の発表時は行っていない。率直な意見が交換できるような職員間の雰囲気づくりを心掛けている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		終了後の反省会で情報を共有し、担当を決め毎日記録している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		6ヶ月に一度のモニタリング、計画の見直しを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行なっているか	○		飽きのない組み合わせを心掛けている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		会議に出席していない。	
	㉑	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者から週間、月間の予定表を提出いただき、漏れのないように複数でチェックしている。トラブルがあった場合にはおひさまへ連絡を入れている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			対象児無し。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		連携会議を行っている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行支援シートを作成し連携に努めている。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		内部研修に参加したり、心理士の助言を受けて支援について検証しながら進めている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		今年度は交流する機会が作れなかった。	長期休業中に交流できるようにプログラムを立てていく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加の機会がない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況屋課題について共通理解を持っているか	○		お迎え時を利用し情報共有を図っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			今年度は3回実施。引き続き実施していく。
保護者への説明責任	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		更新時に説明をした。	
	㉑	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	○		年2回の保護者交流会を行った。保護者間の交流「にこ」はコロナ禍のため実施なし。	
	㉓	子どもや保護者からの苦情について対応の整備をするとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付体制を整えている。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行している。今年度は発行が遅れがちだった。	期日に合わせた予定作りが必要。

等	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○	個人のファイル等については鍵のかかる保管庫にて管理している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	必要に応じ、視覚的なもので補助することなどを心掛けている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	今年度はその機会が作れなかった。	夏祭り等を企画し交流を図っていく。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	マニュアルの提示がされていなかった。	玄関等に備え、いつでも確認できるように整える。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	6.12月は消防署へ届けられた工員全員で実施、それ以外の月は各事業ごとに実施している。	お便りでお知らせする。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	年2回～3回全職員を対象に実施している。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	必要な場合には個別支援計画に記載し保護者の承諾を得ている。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示所に基づく対応がされているか	○	全員が共有し、おやつ準備時には一つずつチェックをしている。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	専用ファイルに綴じてある。	